

放送大学奈良学習センター リカレント連続講演会 「名作をジェンダーの視点で読み直す」

第2回 ブラム・ストーカー 『吸血鬼ドラキュラ』

講師：中川 千帆氏

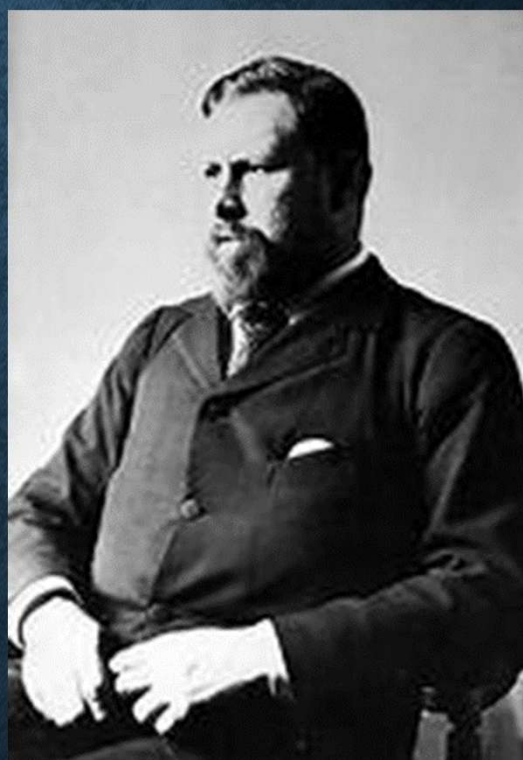
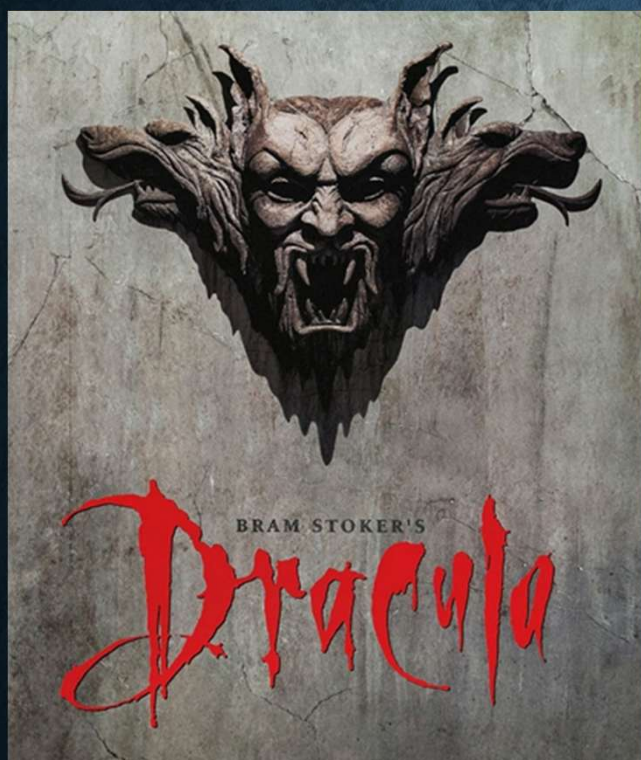
(奈良女子大学文学部教授)

日 時 12月13日(土)14時30分から16時30分

会 場 奈良女子大学文学系N棟101教室

※地図は裏面に掲載しています

『吸血鬼ドラキュラ』は現在の吸血鬼のイメージを決定づけたゴシック小説の傑作です。19世紀後半のトランシルヴァニア(ルーマニア)とイギリスを中心に展開する恐ろしい吸血鬼の物語には、ジェンダーやセクシュアリティの問題を様々に見ることができます。ヴァン・ヘルシングたちは何を守ろうとしているのか、吸血鬼となったルーシーが官能的なのはなぜなのか、ミーナはなぜ理想の女性なのか、当時と現代の視点からジェンダー問題として読み解いていきます。



奈良学習センターウェブサイトまたは右のQRコードからお申し込み下さい
難しい場合は電話でお申し込み下さい。**定員60名で先着順**に受付けます。

主催 放送大学奈良学習センター (Tel: 0742-20-7870)

共催 奈良女子大学文学部言語文化学科「ジェンダー言語文化プロジェクト」
奈良国立大学機構奈良カレッジズ連携推進センター

参加費無料 申込先着順



奈良女子大学文学部言語文化学科教授。アメリカ文学とゴシック小説や犯罪小説を対象に、ジェンダーやセクシュアリティの問題を研究しています。最近の論文に『ジェンダーロールの呪縛と越境』（英宝社2023年）所収の「女性の居場所と職業—二〇世紀犯罪小説の看護師探偵たち—」があります。

「名作をジェンダーの視点で読み直す」開催趣旨

文学が私たちの社会の写し鏡だとしたら、文学作品にはその時代の文化的な性のあり方（ジェンダー）が色濃くあらわれているはず。この連続講演会でジェンダーの視点をもって文学を読むことを体験してみませんか？

他回のご案内 こちらも是非ご参加ください。(1回のみの参加でも可)

- | | | |
|-----|---|--|
| 第1回 | 11月22日(土)14時30分から16時30分
シャルル・ペロー『赤ずきん』 | 於:放送大学奈良学習センターZ306講義室
講師:高岡 尚子氏(奈良女子大学文学部教授) |
| 第3回 | 1月17日(土)14時30分から16時30分
夏目 漱石『こころ』 | 於:放送大学奈良学習センターZ306講義室
講師:吉川 仁子氏(奈良女子大学文学部准教授) |
| 第4回 | 1月24日(土)14時30分から16時30分
樋口 一葉『たけくらべ』 | 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室
講師:笹尾 佳代氏(同志社大学文学部教授) |
| 第5回 | 2月 7日(土)14時30分から16時30分
エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 | 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室
講師:市川千恵子氏(奈良女子大学文学部教授) |
| 第6回 | 2月14日(土)14時30分から16時30分
ゲーテ『ファウスト』 | 於:放送大学奈良学習センターZ308講義室
講師:児玉 麻美氏(奈良女子大学文学部准教授) |

会場のご案内

当日は誘導看板を設けます。

公共交通機関により
お越しく下さい。

